



発行所
秋田県合川町役場
責任者(広報係)杉浦佐一郎
(連絡電話 4番・14番)
[発行部数 2,600]

ドロブクは
母さん造るな
父さん飲むな

無火災の願いをこめて

三十九年 出初式おわる

町消防団の昭和三十九年出初式は去る五日全団員が役場前に集合、合川中学校グラウンドを先頭に堂々の市内パレードを行ない、町役場前、合川町長、三浦團長の観閲があった後、式場の合川高校で盛大に挙行された。

有功章は小林氏に

式は国歌斉唱によって開幕、三浦團長から「昨年は本町に大小合わせて十件も火災が発生、多額の損失を招いたがことしはこの汚名返上のため団員が一致協力、消防の使命達成に努力しよう」と式辞が述べられ、つづいて町長あいさつ、辞令交付、表彰状、感謝状の授与伝達、来賓祝辞、万歳三唱などがあつて正後過ぎ解散した。

- 【知事表彰】
有功章
小林貞雄(第一分団)
二十一年勤続団員
松橋 茂雄(第一分団)
定田 経夫(同)
木村 吉三(同)
吉田 孝一(同)
藤田 清(第二分団)
田中 広吉(第三分団)
藤岡 清助(同)
小林 三郎(第一分団)
松井 政雄(同)
吉田 芳雄(同)
藤島 幸一(第二分団)
奈良 久美(同)
藤岡 広治(第三分団)
三浦 昭(第四分団)
松岡 茂雄(第三分団)



【勢ぞろいした消防団員たち】

- 【郡消防協会表彰】
七年勤続団員
定田 要悦(第一分団)
武石 正美(同)
杉浦 竹夫(第二分団)
安部 三郎(同)
伊勢 憲悦(同)
藤田 昭二(同)
斎藤 祐一(第三分団)
伊藤 勝美(第四分団)
三浦 修一(同)
成田 一雄(第一分団)
山田 虎雄(第二分団)
杉浦 千代美(同)
小笠原 貞雄(同)
柴田 助吉(同)
木村 運一(第三分団)

伸びよ合川友の会

町長も上京して激励

中学校を卒業する生徒たちが去る三十七年十二月にちとして楽しめ就職し、月月初旬のこと、なれぬ異郷の地で働いている合川中学校の春、合川中学校から京の三地区に就職する四十人余りの三期生たちが今から上京する日を指折りかぞえて待っている。

それは、同地区で働いている「合川友の会」八十余人の先輩たちと久しぶりの対面である。友の会からこのほど広報係に寄せられた便りによると、同会では去る十二月初旬、東京都日比谷公園で臨時総会を開き、就職のため上京してくる後輩たちを迎える行事について話し合い、五月ごろには日帰りのバス旅行をしようとしたそうである。合川友の会がうぶ声をあ

- 伊藤 鉄雄(第四分団)
鈴木 昭二(同)
金田 鉄雄(同)
【優良団員】
今泉重治郎(第一分団)
杉浦清一郎(第二分団)
金田 盛悦(第三分団)
三浦 博(第四分団)
【副団長】
佐藤伊右衛門(第一分団)
吉田 正一郎(同)
藤田 喜久治(第二分団)
【退職団員】
佐藤 冬造(第一分団)
吉田 勘四郎(同)
佐藤 善助(同)
高橋 由松(第二分団)
木村 宇一郎(第三分団)
松岡 義見(第三分団)
高橋 作治(第二分団)
李 岱、芹沢、木戸石、川

- 井の各部落
火災予防活動団体
合川中学校生徒会
合川東小学校児童会
合川西小学校児童会
合川南小学校児童会
合川北小学校児童会
合川北小学校児童会

6,869人と確定

基本選挙の登録人員

町選挙管理委員会は、基本選挙の登録人員を確定、公示した。その結果、町内には、有権者総数が六千八百六十九人となっている。男、女別では、男三千六百九十三人、女三千六百七十六人、男女別有権者の四百八十三人多いことがわかった。



火の用心!!

ことしこそ 火事のない町に!!

昨年のわが町は火事に明け、火事に暮れたといつていいほどに多くの火災が発生した。郡内一いや県内一のありがたない記録を持てしまった。1月から12月までの火災件数は10件、このため21世帯約100人が焼け出され、3,000万円を灰にしてしまったのだ。このおそろしい火事からわが家を守り、町を守るために、一万二千の町民一人一人がもっとも火に注意しようではないか……。火災の町、合川という汚名をことしこそ返上しよう……。

【写真は12月26日西根田にて写す】

の活動も着々と軌道に乗ってきたのである。また友の会では機関紙として毎月一回「会報」を発行し、全団員に配付するほか町で発行する「広報あいわ」とも交換、月一回の集いのときには全団員がこの広報紙をむさぼるように読んで、郷土の消息をたしかめている。

昨年度、公民館の和田主事らが上京したときには、会員たちも大いに喜び、心ゆくまで郷土の消息について語り合ったというが、町では近いうちには、町長が上京し、町内のいろいろな記録を取った8ミリフィルムを公開する準備を進めているが、広報係、母校、公民館などにはこの日が待ちどおしいという便りがぞくぞく寄せられている。

冬期の確保にご協力を

交通の確保に注意

町では、かねてより冬期の交通確保について秋北バス会社に強力な陳情をしてきたが、同社はこれにこたえて、冬は各地区ともブルドーザーなどの除雪機材をフルに活用してバスの運行には支障を生じないようにするとの方針を打出すとともに、町内の皆さんにも、次のことがらについて協力してほしいと望んでいる。

- ①除雪車の運行時には道路の上に支障物を置かないこと
- ②カキ上げられた雪を再び道路に投げ返さないこと
- ③子供たちの道路上でスキー、スケート、ソリ遊びは危険なので十分に注意すること
- ④花芽の調査実施

気軽にご利用を

行政相談所開設

秋田県地方行政監察局では、各地で「行政苦情相談所」を開き、国の行政に対する

タバコは 町内で 買いましよう

成
人
生
活
作
文

◎ 入選

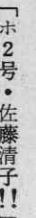
誠実な人になりたい

「私の願い」

米倉房子(上杉)

詩
鈴木昭子（福田）

佐藤清子



も責任が付き回るからでは
ないだろうかと思う。何か
事が起つても、これまでは
未成年ということで簡単に
許されてきたが、これから
はそういうわけにもいかな
いからかも知れない。

昨年は選挙の当り年とい
われた年で、いろいろな選
挙が相次いで行なわれたが
それに比例するように「選
挙違反」といういまわし
字句の記事が連日の新聞紙
上をにぎわした年でもあつ
た。

こんな中で、私もはじめ
て与えられた選挙権を行使
するため部落の投票所に足
を運び投票を済ませた。私
が投票した候補者は残念な
がら落選したけれども、誰
からの干渉もなく、私が投

いまでは、政治は私たちの日常生活にまで深く浸透し、家計さえも政治のやり方ひとつで大なり、小なりの影響を受けるといわれている。政治、それはいまでは人ごとではないと私は思っている。

政治的教養の必要が老若男女を問わずさげばれていながらも、世の多くの親たち、とくに女子青年の親たちが「いまに嫁にいけば苦労する。せめて娘時代だけでも楽をさせよう……」との盲目的愛情から花嫁修業といわれる和洋裁、編物生け花、茶の湯などを身につけさせることに忙しく、また娘たち自身もそれが当然のこのように考え、政

のうちに、あんなにも嵐が吹きまくり、雨が降らなければならぬものでしょうか……。

母はどんなに苦勞したところでしよう。そんなに老い込んだ歳でもないのに顔には、しわが寄り、頭には白いものが見られ、歳よりはズーと老けた感じを与えております。過去の苦勞がはっきり刻み込まれている母の顔、誰にも母はその苦勞をもらさず一人でじっと耐えてきたのです。

私が小学校二年の頃、母は過勞がもとで心身ともに疲れ果て、ついに病床に伏す身となりました。それからわが家は来る日も来る日も暗い毎日が続きました。母が入院してからの一家の

そんなとき、父は「アイヌの人たちは『雨が降った後は必ず良い天気になる』と言っている。いまにきつと家でも楽になるよ」と励ましてくれました。そしてこの父の言葉がいつも私を告えてくれたのです。

母が病にたおれ、人手も不足し、年とつた祖母と子供だけの私の家にも世間からの同情は寄せられ、青年会や、近所の人たちが忙がしい仕事の合間をみては草取りや、豆まきなどの手伝いにとぎどきかけつけて下さいましたが、この温かい心づくしは今になっても忘

◎あなたはもう納めましたか？
 今月は国民年金保険料第3期の期限です。
 年金はあなたの老後の生活やいろいろな事
 故(ケガや一家のご主人の死亡など)に対す
 る保障を行なうことになっております。

◎納める方法は

① 役場や支所の窓口で印紙を買って
 納める

② 毎月1回部落に出張検認に出かけたときに納める

③ 納税組合で取り扱っているところは組合の集金日に納める

④ 部落から役場に出ている人に預つて納める

等いろいろありますからもつとも便利な方法を利用して下さい

◎保険料は 20歳～34歳までは月100円

35歳以上は月150円 ですが1年以上10年
まであるいは全期間分をまとめて納めると
割引き になってたいへん有利です。
◎国民年金はあなたのためのものです。保険
料は滞りなく期限までに納めるようにつと
めましょう。
◇年金は楽しい老後の貯金箱
◇年金で生まれる安心わく笑顔

町民課国民年金係

半 五 法
 芹田昭彦、弥市孫、芹
 三浦明美、理助孫、三木
 死亡(五)
 ◇謹んでおくやみを
 申し上げます。
 後藤長右衛門、長松孫下
 成田ミサオ、本人、李
 成田七チ、信一郎妻、同
 三浦貞蔵、本人、三木田
 桜田運吉、本人、西根田
 婚姻(三四件)
 ◇おめでとう。
 この喜びを
 いつまでも……。

桜庭 清美	木戸石
武田 弘子	高知県
柴田 繁	八幡袋
北島 洋子	大館市
長谷川寿雄	鷹巣町
小笠原紀子	増 沢

松橋	神成	関	桜井	工藤	安部	佐藤	坂田	後藤	工藤	伊勢	川合	成田	成田	平川	高橋	畠沢	今泉	藤田	戸島	工藤
キミ	久孝	千賀子	正二	光子	恒義	フヨ子	勉	イヨ	佐一郎	ミチ子	又吉	節子	清二郎	賢蔵	ヤエ	繁三	キミエ	勇夫	美智子	洋子
道	鷹峯	大館	下	上	新田	木戸	熊本	下	森吉	駅	埼玉	岱	李	李	八幡	花矢	道	鷹峯	上	上
城	町	町	杉	杉	杉	杉	杉	杉	町	前	町	本	代	代	代	町	町	町	杉	杉

世の多くの人々は、無意識の中に「政治のことは政治家に任せておけばよい」という考えがまだまだ強いようだ。しかし、それでは日本の政治はまだまだ良くなるはずがないのではある

月日の流れは早いもの、希望に胸ふくらませて中学校を卒業してから五カ年、きょうから社会人の仲間入りをするようになりました私の過去、それは数々の苦しみの連続でした。一生

丈にものび、この手入れの
ために、小さい私も学校か
ら帰ると鍬を肩にして田や
畠に出かけました。

多くのともだちが、父母
の傍で何んの苦勞もなく勉
強して、楽しく遊んでいろ
のを見ては、どうして長女
として生まれて来たのだろ
う……兄や姉でもいてくれ

ですが、突然母の代りとな
よっていた祖母が急病で亡
くなってしまったのです。
楽しみにしていた正月を目
前に祖母の急死、家の中け
またまた暗いものとなって
しまいました。

ともだちがみんな美しい
着物を着て楽しい正月を迎
えるのに……と思うと、白

「どんな良いお茶をお使
いになっているんですか」

ひ縦覧を(12月)
農委の選挙人名簿

◇

製され
農業
員会委
選挙人
簿の砂
覧がこ
二十日
ら二月
日まで
十五日

慶弔たより

自三八、一二、一
至三八、一二、三一
出生(三)

◇おめでとう。
ご健康を祈ります。

橋岡 政徳	津谷 敦子	佐藤重一郎	川村 愛子	小笠原 武	清水 ナヨ	相馬 幸恵	岸田サト子	松岡 健治	栗田 節子
森吉町	鷹巣町	木戸石	藤里村	増 沢	上小阿仁	八幡皮	横浜市	羽根山	東京都

誠実な人に
私の願い
米

倉房子

れることができません。

そのころの私の楽しみといえ、家のことを心配しながらも病氣とたたかって母を病院にたずねることだけでした。ある年の暮には「正月になったら妹と二人で母のところへ行こう」と指折り数えていたの

でも、今は先輩や先生たちの温かいご指導で毎日の仕事がとても楽しく過ごせるようになりました。ごく一部の人たちの中には「田舎公務員」という仕事を軽蔑していると思われるようなさぶりを見せるときもありました。

にも一人前となり、父や母のために、また弟妹のためにひいては自分自身のため社会の一員として働きたいとします。

三 一反歩以上の農地を
作している者。

四、右の各項にあてはま
人の同居の親族または
その配偶者（ただしそ
者の耕作に従事する日
が六十日に達しないと
業委員会で認めた者は
かれます）

杉淵	成田	正田	蛇川	柴森	金田	工藤	加賀	武田
吉子	利美	淳子	進	ヨエ	鉄三	チマ	義博	節子
	ニツ井	上杉	大館市	森吉町	新田目	上杉	森吉町	岩手県
増沢								

治のことなどには全く無関心のように思われる。

私たちは、ここで有権者であるということを実感し、もともと政治というものに目を向けてみる必要があるようだ。日本の内外の政治情勢を見聞するたびに、いっそうその危機を深く感じさせられるが、このような現実の問題はたえず私たちの日常生活に直接間接に大きな影響を及ぼすものと思われるし、たとえそこにとんだ政治が行なわれようとも、これを軽蔑したり、人ごとのように考えること

は主権者としての私たちの権利を自ら放棄するようなものであると思う。私たちの幸福につながる政治を実現するために、今こそ政治至上の知識を高め、いたずらに各自の偏見や独善に陥いることなく、正しい批判の眼を向けることが必要なのではあるまいか。

選挙に違反はつきもの……といった人がある。しかし、その責任の一端は私たち有権者にもあるのではないかと私は思う。「選挙ブローカーに金を渡したら、いつの間にかそれがテレビ

や冷蔵庫に化けていた」という新聞記事があったが、選挙のたびにこんなことが起っていたのでは何んのための選挙かと思いたくなってしまう。

金のかからぬ選挙、義理人情にとらわれぬ選挙……いわゆる公明選挙を実現させるため、私たちは社会人としての一步を踏み出した。今日から成人としての使命を認識、あたらしい有権者としての自覚と誇りをもつてこの理想実現のために誓い合いたいものである。

おり私達一家をおおつていた黒い霧も次第に晴れて辛くなりました。母の病氣も次第に快方に向い、退院してからはいみんなに心配されながらも炊事や田畠の仕事をするほどになり、中学をおえた私も大館の学校に二年も通わせてもらうことができました。

その後、私は、ある親切な人におすすめられて、町の中学校に用務員として働くことになりましたが、はじめての頃は家の仕事をしてゐるよりも大変でした。何をしてよいやら気がきかざ

私もそれ以来は、つねにこの和尚さんを見習ひ、くらかでもおいしいお茶など汲んであげられるような用務員として、またどんなにでも誠意と責任を持つ人間として生きていこうと心がけております。

今の仕事についてからうるとときは、腹をかかえてない、またあるときには泣きました。これからもう嬉しことや、悲しいことが次と出てくるでしょう。

しかし、きょうからは私もの仲間、うわべばかりの大でなく、青神中

による町長、町会議員などの選挙人名簿とちがって、選挙人名簿を調製する制度がなく、したがって、これにのっていないと次にになわれる町の農業委員選挙には投票することができないことになりましたから、資格のある人は縦覧期間中必ず自分の名前を確かめようにして下さい。

なお、資格のある人との次の条項に該当する人々ことです。

一、合川町に住所を有すること。

二、年齢二十歳以上の者

（三十九年三月五日現在）

小松 喜孝	黒沢 範子	村形 正次	蛭田 幸子	木村 勲	木村タキ子	佐藤 秀雄	佐藤 岩子	伊勢 勝安	秩父 サエ	杉淵 源之	近藤 タマ子	福岡 忠男	竹中タミ子	加藤 勇喜	磯谷 昭子	松橋 弘作	港 春代	佐藤 王成
川井 田代町	川井 田代町	川井 田代町	福井 豊	李 岱	李 岱	大曲 井	川井 田代町	八幡 代	小坂 町	増 沢	鷹巣 町	三 里	北海道	鎌 沢	森吉 町	三 里	上小阿 井	